

原油ETF証拠金取引

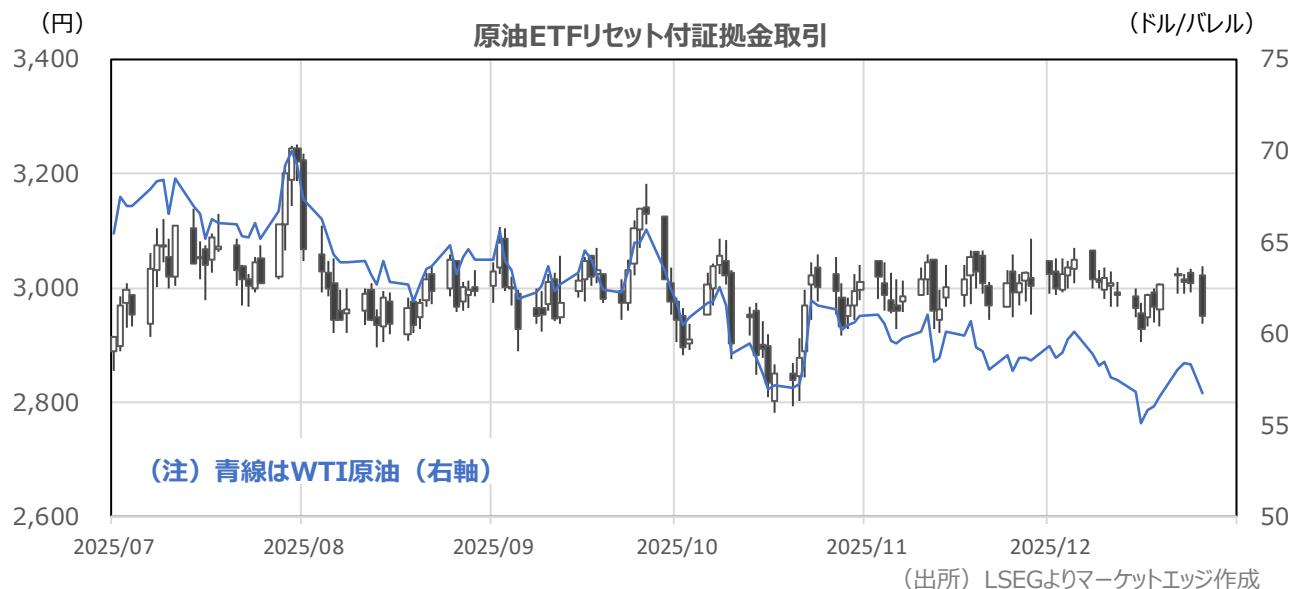
WEEKLY REPORT

2025/12/29号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



供給不安が下値支えるも、小動きに留まる

NY原油先物相場は、1バレル=58.88ドルまで値上がりした後、56ドル台後半まで軟化し、前週比では小幅高に留まった。前週に続いてベネズエラやロシア産原油の供給不安が警戒され、戻り高値を更新した。クリスマス休暇前の持高調整の動きもあり、12月11日以来の高値まで切り返した。しかし、本格的な需給ひつ迫が警戒された訳ではなく、反発力は限定され、60ドルの節目を試すような動きは見送られた。

トランプ米大統領はベネズエラに入りする石油タンカーの全面封鎖を命じている。制裁対象のタンカーに加えて、ベネズエラ産原油を輸送するタンカーも拿捕され、緊張感が高まっている。海運会社はベネズエラ産原油の取り扱いを敬遠しており、流通障害が発生していることはポジティブ。シェブロンなどは従来通りにベネズエラ産原油の取引が可能だが、一定の混乱は避けられない状況になっている。

ウクライナの和平協議には、目立った進展が見られなかった。トランプ米大統領はクリスマスまでの合意を目指していたが、ロシアのプーチン大統領はウクライナに対してさらなる譲歩を求めている。黒海周辺でウクライナとロシアの激しい交戦が続いたこともポジティブ。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

地政学リスクで不安定な地合も、戻りは売られる

地政学環境の不安定化で原油相場の値動きは安定しづらいが、戻り売り優勢の地合が維持される見通し。ベネズエラとロシア産の供給不安を抱えているため、地政学環境の変化によつては一時的に60ドルに迫るような展開は想定しておく必要がある。しかし、需給緩和見通しに大きな修正を迫ることは難しく、これまでと同様に地政学リスクを織り込む上昇局面は売り場になる見通し。価格リスクは引き続き下向きになろう。

ベネズエラ情勢に関しては、米国は経済的な圧力を重視する見通しであり、当面はベネズエラ国内の麻薬関連施設に対する攻撃といった軍事オプションは見送る見通し。このため、地政学リスクに起因した急伸リスクは後退しよう。ただし、石油タンカーの新たな拿捕などが報告された際には一定の買ひ圧力の発生を想定しておく必要がある。

ウクライナ和平協議に関しては、先行き不透明感が強い。ウクライナが領土問題やロシアの再侵攻を防ぐための「安全の保証」で一定の譲歩を見せているが、ロシアのプーチン大統領は不十分との見方を維持している。12月28日にウクライナのゼレンスキーダー統領が訪米し、トランプ大統領と首脳会談を行う予定になっている。そこで和平期待が高まると、55ドル割れを打診するリスクがある。一方、和平に向けて目立った前進が見られず、黒海周辺で激しい交戦状態が続くと、原油相場は下値を支えられる可能性が高まる。

いずれにしても需給緩和評価から値下がりリスクを抱えるが、こうした中で地政学リスク主導の短期上昇の有無を探る局面が続きやすい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



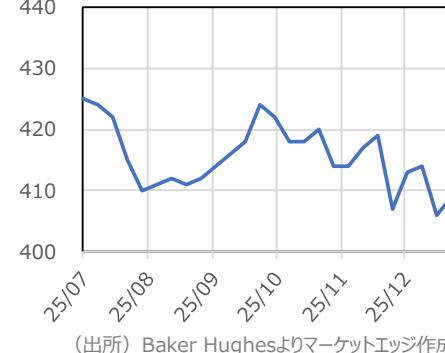
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

